

ますます高まる環境教育の重要性

地球温暖化をはじめ、さまざまな環境問題が深刻化する中で、環境教育の重要性がますます高まっています。人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成することを目指します。

地域・家庭とのかかわり

特に児童にとっては、地域の身近な問題に目を向けた内容を取り上げ、身近な活動から学習を始めることが重要です。また、環境保全のための取り組みは、日常生活の中でも意識的に行っていくことが求められています。家庭や地域社会と積極的に連携し、学んだことを家庭や地域社会での生活に生かすことができるよう配慮することが大切です。

出前授業や社会見学会の様子



出前授業



ソーラーシェアリング
とサツマイモ掘り



間伐竹を利用した課外工作



社会見学会



出前授業



人力自転車発電
(エネルギーの大切さを勉強)



ゴミの分別についての勉強会 (省資源)



出前授業・体験学習のながれ

WEO(世界環境改善連合)では出前授業と関連活動のコーディネータを派遣し、一学年 30 名程度に対して 90 分程度の授業をおこないます。内容は：①と②で 30 分程度

- ① 映像も交えた地球温暖化の概要、原因、仕組み、影響などの現状把握
- ② 世界や日本や地元での温暖化防止への取り組みの紹介、WEO のアピール内容
- ③ 体験学習として、日本人が一日に消費しているエネルギー量を実感してもらう。

再生可能エネルギー(自然エネルギー)に触れるために、太陽光発電装置で発電した電気で扇風機を回してみるなど、自然エネルギーを理解する。(③で 45 分程度)

- ④ まとめ (10 分程度)

身の回りのエネルギー使用状態を把握し、地域特有の自然エネルギーに着目し、これからやるべきこと、化石燃料や原子力に頼らないエネルギーの使い方を考える